

# 警察情報通信基盤の整備

警察活動を行う上で警察情報の的確な伝達は必要不可欠であり、大規模災害発生時等においても通信が途絶することのないよう、その手段を確保する必要があります。

警察では、独自に整備・維持管理している無線多重回線（マイクロ回線）、電気通信事業者の専用回線、衛星通信回線等により構成される全国的なネットワークにより、警察庁から管区警察局、警察本部、警察署、交番等を結んでいます。これらの回線は2ルート化やデジタル化を行うことにより、信頼性の高いものとなっています。また、これらの回線を介して、警察電話、移动通信システム、通信指令システム、警察情報管理システム等を中心に各種情報通信システムを構築しています。



平成21年度から警察基幹通信網をIP化する「警察基幹通信網の再編整」を行っています。この整備により、大容量・高速通信が可能となり、捜査活動等に必須な大量のデータ検索が迅速化されるほか、災害現場等の映像のよりスムーズな伝送等が容易になるなど、高い拡張性を持った警察独自の危機管理通信が効率的に実現されます。